

NEWS RELEASE



2023年11月17日

avatarin 株式会社

公益社団法人津島市シルバー人材センター

西尾張シーエーティーヴィ株式会社

株式会社三技協

アバターロボットを活用した高齢者の就労支援の実証を実施します



ANA ホールディングス発のスタートアップである avatarin 株式会社（代表取締役 CEO：深堀 昂、以下「avatarin(株)」）は、愛知県から受託した 2023 年度あいちデジタルアイランドプロジェクト^{※1※2} のユースケースの一つとして、公益社団法人津島市シルバー人材センター（以下「津島市シルバー人材センター」）、西尾張シーエーティーヴィ株式会社（代表取締役社長：中野 治也、以下「クローバーTV」）、株式会社三技協（代表取締役社長：仙石 泰一、以下「三技協」）と協力し、アバターロボット「newme（ニューミー）」を活用した高齢者の就労支援の実証実験を実施します。

実証内容は、津島市シルバー人材センターの会員が、愛知県津島市のクローバーTV 局舎から愛知県常滑市で開催される障害者ワークフェア 2023^{※3} の会場に設置された newme を操作し、来場者に対して出展ブースの紹介や呼び込み等を行います。通信に関し、newme を操作するパソコン側はクローバーTV が津島市の事業により三技協と協力して整備した地域 BWA^{※4} を利用し、newme を設置する愛知県国際展示場側では第 5 世代移動通信システム（5G）を利用します。

本実証の目的は、アバターロボットを活用することにより、高齢者等にとってより身体的な負担の少ない就労の在り方を検証することです。さらには本実証を通じ、高齢者や障害者等の雇用機会の創出を図るとともに、人手不足の課題解決にも繋げていきます。

◆実証概要

日 時： 2023年11月18日(土)午前10時から午後1時まで
アバター設置場所： 愛知県国際展示場ホール F 障害者ワークフェア 2023 会場（愛知県常滑市）
アバター操作場所： クローバーTV 局舎（愛知県津島市）
アバター操 作 者： 津島市シルバー人材センター会員

アバターロボットを活用した実証実験の御案内や当日の様子などは、以下の Web サイトにて公開しています。

<https://about.avatarin.com/areasolution/aichi/digital2023/>

avatarin(株)、津島市シルバー人材センター、クローバーTV、三枝協は、アバターロボット newme の活用を通じて、高齢者や障害者等の雇用機会の創出を図るとともに、人手不足の課題解決を目指していきます。

※1 あいちデジタルアイランドプロジェクト

愛知県が昨年度立ち上げた、中部国際空港島及び周辺地域を、5 G等デジタル技術を活用したオープンイノベーションフィールドに位置付け、2030 年に世の中での普及が見込まれる近未来の事業・サービスを、当エリア内において先行して実用化することを目指すプロジェクト

※2 avatarin 株式会社ニュースリリース

2023 年度あいちデジタルアイランドプロジェクト推進事業においてアバターロボットに関する事業を 2 件受託しました

<https://about.avatarin.com/info-news/news-release/7904/>

※3 障害者ワークフェア 2023

障害者の職業能力及び雇用に関する展示、実演及び作業体験などを行うことにより、事業主をはじめとする社会一般の障害者の雇用と職業能力に関する理解と認識をより深めることを目的として、全国アビリンピックの一環として開催。

<https://www.jeed.go.jp/disability/activity/education/workfair2023.html>

※4 地域 BWA

地域広帯域移動無線アクセス（地域 BWA : Broadband Wireless Access）システムは、2.5GHz 帯の周波数の電波を使用し、地域の公共サービスの向上やデジタル・デバイド（条件不利地域）の解消等、地域の公共の福祉の増進に寄与することを目的とした電気通信業務用の無線システムです。

（総務省電波利用ホームページより引用）

以上

◆avatarin(株)について

avatarin（アバターイン）株式会社は「移動の民主化～すべての人が持続的にいつでもどこでも自由に移動できるように～」を目指したANAホールディングス発のスタートアップです。これまでの移動の概念を見直し、肉体の移動ではなく、あらゆるロボットやモビリティに人の意識、技能、存在感を伝送する新たな移動サービスの普及に取り組んでいます。また、独自開発の通信プロトコルや遠隔AIモジュールなどを通じて、遠隔操作の高速化や遠隔操作からのAI化に挑戦しています。

<https://about.avatarin.com/>

◆avatarin(株)の目指す未来、今後の展開

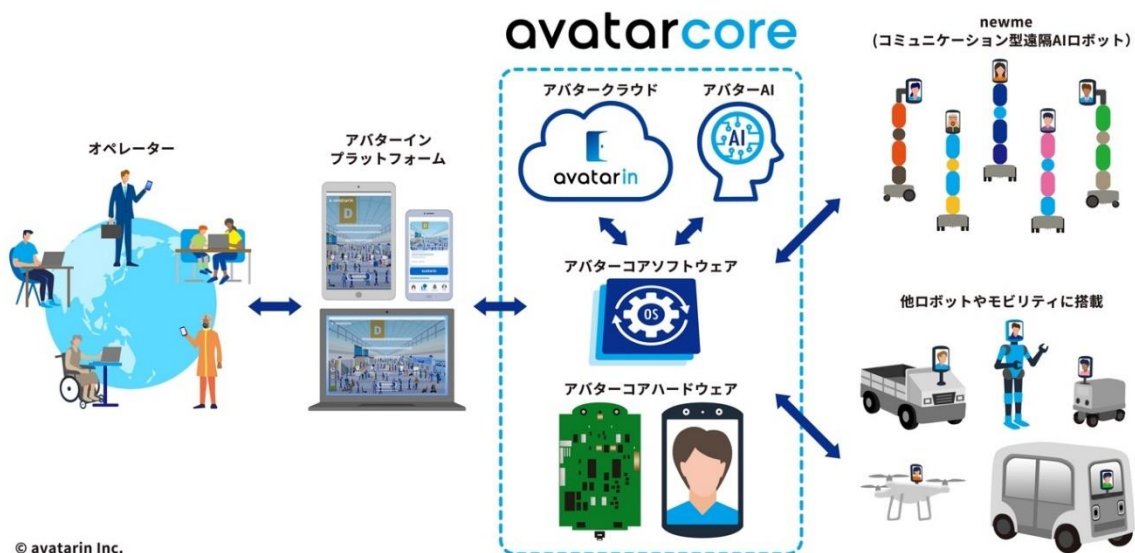
アバター技術を活用した社会課題解決のビジョンを実現するための鍵となる技術として、「avatar core®（アバターコア）」の独自開発に取り組んでいます。ハードウェアに加え、ソフトウェア、クラウド及びAIを組み合わせることで、超低遅延で大容量の映像や音声、制御データなどをインターネット経由で高速伝送することを可能にするシステムモジュールとして、ロボットやモビリティに搭載し、遠隔制御やAI学習での活用を目指しています。

avatar core®の研究・開発において、現在は2つのプロダクト「newme（ニューミー）」及び「アバターコアハードウェアとソフトウェア」を軸に開発を進めています。

newmeは遠隔で自由に動きまわりながらコミュニケーションをとることができる遠隔AIロボットであり、2021年より水族館や美術館などで運用を始めています。今後は、国内空港をはじめ、海外空港やホテル、病院、役所、駅、コンビニなどサービス案内業務、誘導などが必要な現場を中心として順次展開をしていきます。

アバターコアハードウェアとソフトウェアについては、今後登場するさまざまなロボットや自動運転車、ドローンなどのモビリティ等に搭載していきます。遠隔からの超低遅延リアルタイム制御を実現するとともに、AI学習によって人の能力を拡張することを目指します。

世界ではロボティクスやAIによる人の作業代替を加速させる技術が注目されていますが、avatarin(株)は、人の享受する体験価値の向上に繋がる身体能力拡張のためのロボティクスやAI技術を追求しています。人が必要とする場所へ、年齢を問わず、気軽に移動することを実現するほか、これまでその人ができなかったことをアバターで能力拡張し、できるようにしていく世界を創っていきます。あらゆる人がアバターという持続可能で気軽に誰もが利用できる乗り物で未知なる場所に瞬間移動することができたり、新たな人と出会うことができたり、毎日がワクワクするようなライフスタイルを日本から世界に提案していくことを目指します。



© avatarin Inc.

avatar core®概念図